

2. 海馬の役割

海馬は脳の脳縁系にある器官で、記憶を一時的に保存したり、記憶すべき情報を大脳皮質へ送り長期記憶として定着させたりする役割を担っています。

目や耳などの感覚器から入ってきた情報は海馬の歯状回と呼ばれる場所に伝達されます(①)。その後、神経細胞によって情報が伝達され、体験が記憶に残る形に変換されます(②)。海馬では記憶を一時的にしか保存できず、そのほとんどが消えてしまいます。しかし、くり返し思い浮かべた事や強い印象を伴う事は、その情報が脳皮質へ送られて蓄えられ、長期記憶として定着されます(③)。

海馬の歯状回と呼ばれる場所には、神経幹細胞が存在し、常に新しい神経細胞を生み出しています。新しい神経細胞は新しい体験を記憶として保存するために必要な細胞であることが解っており、神経細胞の新生は記憶の形成に重要です。

海馬の断面図

